



第 196 号

平成 27 年 7 月 1 日
小松市史編纂事務局
へんさんだより

市史へんさん



6 月 19 日北陸地方が梅雨入りしました。平年より 7 日遅いそうです。いよいよ本格的な暑さを迎える頃となりました。この暑さの真っ只中に、今年度最初の市史講座が開催されることになりました。講師は古文書講座でおなじみの木越隆三金沢城調査研究所所長です。先生は今年度発行予定の『新修 小松市史 近世村方編』で、村方支配を中心に執筆されますが、講座では特に村御印を取り上げ、前田利常が実施した改作法について、その実態を探ります。厳しいと言われた年貢の取り立てがどのようなようであったか、興味ある方はぜひご聴講ください。

第 68 回 市史講座

小松城の利常と十村たち — 能美郡改作法の実際を探る —

講師：木越 隆三氏（石川県金沢城調査研究所長／小松市史専門委員）



〈内容〉

農業生産を高めるために改作法に取り組んだ利常。税の取り立てに一役を担った十村。村民はどの様して、この厳しい納税に挑んだか、その実態を探り、これまでとは違った江戸期の村方の姿を浮き彫りにします。

佐見村村御印（市指定文化財）

改作法(カイヤク)とは？ 村御印(ムラゴイン)とは？

改作法は、前田利常が、年によって変わっていた年貢の税率を、一定額を納めるようにした政策のこと。その税率を示したのが村御印で、藩主の印(⇒御印という)が押してあったことから、こう呼ばれました。

日 時：平成 27 年 8 月 2 日(日)
午後 2 時～

会 場：小松市公会堂 4 階 大会議室

受講料：無料（事前予約不要）



今、注目の加賀国府!7月は国府が熱い!!

第2回こしのくに国府サミット in 小松
7月11日(土) 13:30~/こまつ芸術劇場うらら



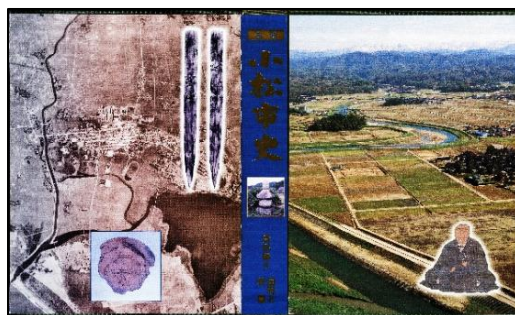
国府推定地(古府町付近)

国の役所を国府といい、加賀国府の所在については、現在のところ発掘調査などによって推定地が確認されていないことから、市民の皆様の間では、大変興味を持たれる話題です。

この7月に、古代こしのくに5ヶ国(越前・加賀・能登・越中・越後)に属する自治体が集まり、国府をテーマに、サミットが開催されます。またそれにちなみ、埋文センターでは、「加賀国府の時代」、河田山資料館では、「加賀国府誕生の地を探る」と題して特別展が開催されます。

新修 小松市史 資料編4「国府と荘園」発売中!

国府関係の小松市史での掲載は資料編4になります。古代編と中世編から成り、文献から見た国府関係の資料が多く収められています。発掘資料も写真で紹介され、発掘品に書かれた国府関係の文字資料を収録しています。



定価 5,000円(税込) B5判 上製本 400頁

<事務局6月の活動状況>

- ・ 6月5・12・19・26日(金) 町屋実測調査
- ・ 6月7日(日) 山間部古民家実測調査
- ・ 6月7日(日) 絹関係調査
- ・ 6月10日(水) 干拓事業調査
- ・ 6月18・23日 庭園調査
- ・ 6月19日(金) 近世村方部会
- ・ 6月26日(金) 編さん・編集委員会
- ・ 6月29日(月) 干拓事業資料調査



<事務局7月の活動予定>

- ・ 7月2日(木) 教育部会
- ・ 7月3・10・17日(金) 町家実測調査
- ・ 7月3日(金) 憩いの森(公園)調査
- ・ 7月9日(木) 建築部会
- ・ 7月11日(土) 正田順太郎辞令撮影
- ・ 7月24日(金) 葭島神社本殿実測

<7月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

は小松市史編纂事務局(図書館2階)が閉室しています。7月より日・月曜日が休室となります。

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
- ・ TEL 0761(24)5315
- ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>